

令和元年度 中区地域力向上事業 事後評価

■助成事業

事業名 実施者	目的	事業内容	総事業費 [補助額] (円)	採用 回数	中区 らしさ A(高い) B(普通) C(低い)	事業目的 の達成度 A(高い) B(普通) C(低い)	財政支援 の必要性 A(高い) B(普通) C(低い)	費用対 効果 A(高い) B(普通) C(低い)	評価
1 軽トラはままつ出世市 軽トラはままつ出世市実行委員会	鍛冶町通りを歩行者天国にした非日常の中で、中心市街地ならではの賑わいづくりを行う。連合会組織を始め、各自治会には開催にあたって住民に対する周知を図り、地域ぐるみで行うイベントとして風土の醸成を図る。商店街が連携したイベントを開催することで、来街者に対して中心市街地の魅力の情報発信を行い、再来街の動機付けを図る。	【期間】 R1.11.24 【場所】 鍛冶町通り、モール街北側、肴町（一部）、有楽街（一部） 【内容】 ・鍛冶町通り50台、モール街10台、計60台の軽トラを配置し市の農林水産品を販売 ・地元9団体によるステージイベント ・ストリートカフェ、出世屋台市 ・スタッフ46人、参加者33,000人	3,321,073 [1,051,000]	2	A	A	A	A	・軽トラ60台が集まり、市の農林水産品を販売。地元9団体によるステージイベントを同時開催するなど、産業活性化と中心市街地の賑わいづくりに貢献した。 ・浜松商業高校と大平台高校の学生が新規出店し、新聞社からも取り上げられ話題となった。当日も商品が即完売するなど好評であり、新たな話題づくりや幅広い世代を取り込む工夫がされていた。 ・約33,000人が来場。出店者満足度調査では、満足の割合が99%、次回出店希望の割合が81.6%と高評価であり、事業への理解が得られている。 ・同時期に開催される他のイベントとも協力しながら情報発信することで、更なる賑わい創出を期待したい。
2 ストリート陸上@まちなか ストリート陸上@まちなか実行委員会	「まちなか×スポーツ」を提唱。オリンピック前年における中区民のスポーツ振興の機運を醸成する。スポーツイベントを活用して中心市街地活性化を図る。	【期間】 R1.11.4 【場所】 浜松市ギャラリーモール ソラモ 【内容】 ・五輪短距離選手や地元アスリートによるかけっこ教室、トークショー、デモンストレーション ・30mタイム計測 ・スローエアロビック実演 ・スタッフ34人、参加者576人	1,327,305 [547,000]	1	A	A	B	B	・6人のトップアスリートによるかけっこ教室やパフォーマンス披露などが行われ、まちなかでのスポーツ振興に貢献した。 ・「まちなか×スポーツ」の新しい提唱は、陸上競技会や体育関連団体からも高評価であった。また、市が実施するアスリートフェスティバルと絡めた告知戦略を行うなど、幅広い機関と連携する土台が構築されており、今後も事業の広がりが期待できる。 ・ラグビーW杯ファンゾーン（県主催）との費用分担や設備手配の調整など、コストダウンのための工夫がされていた。また、クラウドファンディングによる収益確保など、自力で事業を実施するための努力が見られた。 ・通行人が気軽に参加できるものが少なかったため、今後は参加型のイベントを増やすなど集客力の強化を期待する。
3 みちのくフェスタ 浜松商工会議所青年部	東日本大震災被災地域（仙台市・大船渡市）との交流を通じ、東海沖地震が発生した際に被災する可能性のある浜松市民へ、防災・減災の知見を広く情報発信し、防災・減災意識を高め、災害に備える人づくりや地域づくりに貢献する。	【期間】 R1.11.17 【場所】 浜松市ギャラリーモール ソラモ 【内容】 ・仙台市、大船渡市の語り部による東日本大震災体験者の講話 ・震災時の映像や写真パネル展示 ・起震車地震体験、煙体験、避難所モデルルーム体験 ・自衛隊による炊き出し実演、防災クイズ、復興物産展 ・小学生対象の地震防災ポスターコンクール作品展示と表彰式 ・スタッフ75人、参加者1,500人	1,459,925 [685,000]	1	B	A	A	A	・仙台市、大船渡市の語り部による東日本大震災体験者の生きた講話を行うことで、防災及び減災に対する意識を高めるきっかけとなった。 ・起震車地震体験や煙体験、避難所モデルルーム体験など、通行人も気軽に立ち寄ることができる機会が提供されていた。 ・自衛隊による炊き出しの実演や防災クイズ、復興物産展など、防災・減災について愉しく学べる要素を取り入れていた。 ・小学生対象の地震防災ポスターコンクールを実施することで、幅広い世代を取り込む工夫がされていた。
4 花いっぱい・交通安全推進事業 和合町自治会	安心して快適に暮らせるまちづくりのため、花いっぱい運動及び交通安全宣言の町を住民共通の目的として推進する。共生・共助の機運を醸成するとともに、地域コミュニティの再構築を図る。事業の基盤整備を平成29年度から令和元年度の3か年事業として実施し、その後、自治会自主事業として継続する。	【期間】 H31.4.1~R2.2.10 【場所】 和合町地内 【内容】 （花いっぱい運動） ・町内80か所に2個ずつ設置したプランター160個の花苗の植え替えを、春と秋の2回実施 ・プランター内側容器の取り換え、用土の補充、水やり、施肥など （交通安全推進事業） ・標語入りのぼり旗を30本作製し、交通安全街頭広報で使用、町内各所に掲示 ・自転車安全教室や自転車保険加入説明会の開催 ・町内135か所のカーブミラー清掃、老朽化したカーブミラーの取り換えや新設 ・推進スタッフに活動グッズを配布 ・スタッフ80人、参加者 和合町自治会会員約10,000人	379,943 [94,000]	3	A	A	B	A	・花苗の植え替えや用土の補充、水やり、施肥などの世話を周辺住民が協力して行うことで、共生・共助の認識を深める機会となった。 ・和合町自治会は、浜松中央警察署から県内で唯一の「自転車安全適正利用促進モデル地区」に指定されている。これを機に、自転車安全教室や自転車保険加入説明会を開催するなど、より安心安全な町づくりに努めた。 ・3年間にわたり事業を実施することで、和合町民に定着するとともに、交通安全宣言の町は他の自治会や団体にも広がりを見せている。地域コミュニティづくりとしての役割も大きいことから、今後も継続実施することを期待する。

5	第3回浜松Open Art 浜松Open Art	アートと街と市民と作家との交流のある創造的なコミュニケーションの場をつくる。浜松内外の人々が楽しみながら歩くことができるアートシーンにあふれた街を提案する。創造都市浜松の中心地でアート活動を行うことで、豊かな都市形成、人材形成につなげる。作家が生き生きとしたライブ活動を提案できる環境づくりを行う。	【期間】H31. 4. 1～R2. 2. 29 【場所】ゆりの木通り商店街、肴町商店街、有楽街、浜松城公園 【内容】 ・作品展示、パフォーマンス等関連イベント、ワークショップ、絵本の読み聞かせ、演劇公演、シンポジウムなど ・スタッフ10人、参加者（参加アーティスト他）100人	917,010 [352,000]	2	A	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・作品やワークショップを通じて、来場者と作家がコミュニケーションを楽しむ光景が見られた。マップを手に街中を散策する市外や県外からの来場者も多く、中心市街地活性化に貢献した。 ・街を題材にした絵本の読み聞かせや演劇公演、各店舗のイメージに合わせた作品展示など、地域に踏み込んだ交流が生まれていた。 ・シンポジウムで招いたクリエイティブサポートレッツとのコラボレーションの話が進んでおり、バリアフリーの要素を取り入れた活動に発展させる計画があるなど、今後も事業の広がりが期待できる。 ・商店街と浜松城公園との回遊性を持たせる工夫を加え、より多くの来場者が訪れることを期待する。 ・商店街の空き店舗をリノベーションさせるなど、地域資源を活用していく取り組みもあるとよい。
6	遠州市場 一般社団法人浜松商店界連盟	まちなかの「にぎわい」を取り戻すため、多くの人に遠州の良さを再発見してもらおう。県の商店会との連携強化を図る。定期的に行うことで認知度を上げ、集客につなげる。	【期間】H31. 4. 13～R2. 2. 8 ※R2. 3. 14も開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 【場所】The GATE HAMAMATSU南側 イベント広場 【内容】 ・毎月第2土曜日に開催 ・遠州地域の農産物の直売品や加工品などを販売 ・音楽家による演奏など ・スタッフ25人、参加者600人（1回につき）	523,930 [207,000]	2	A	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・高架下という人通りの少ないスペースでありながら、開催は20回を超え、出店者数も来場者数も増加しており、中心市街地活性化に貢献した。 ・毎月第2土曜日に継続実施することで、固定の出店者や来場者、新規出店の問い合わせが増えるなど、事業の認知度が着実に上がっている。 ・出店者から企画案が出るなどチャレンジの場にもなっている。来場者を増やす工夫をし、継続実施することを期待する。
7	「未来につなぐ 地域と人・歴史」中 区の魅力冊子作成 NPO法人みらいネット浜松	中区の後世に伝えたい歴史や伝統ある遺産、様変わりするまちの現状を分かりやすくまとめた冊子を作り、地域の宝をみんなで大切にすることを高める。東日本大震災では津波により多くの文化遺産が失われたため、教訓を踏まえ、地域遺産を冊子にしてまとめておくことは重要。次世代の子供たち（小中学生）の校外学習資料として利用する。	【期間】R1. 7～R2. 3 【場所】中区地区現地（調査）、協働センターほか（打ち合わせ） 【内容】 ・カラー98頁、A5版、冊子1,000冊作成 ・地域の人や有識者からの聞き取り、既存の資料からの調査検証、編集や写真撮影など ・後世に伝えたい歴史や伝統ある遺産、まちの変化と現状を分かりやすくまとめた ・スタッフ17人	1,100,006 [550,000]	1	A	A	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目には詳しい内容とカラー写真が掲載され、地図で位置が示されるなど見やすく分かりやすい内容となっている。 ・地域の散策や観光案内、子供たちの校外学習などにも活用できる。地域の宝物を知り、誇りと愛着を持って守り、次世代に継承していく大切さを再認識するためのツールとして幅広く活用されることを期待する。
8	現代薪能 浜松城公園野外劇 近代能 楽集「弱法師」 演劇ユニットFOX WORKS	過去に浜松城公園の石舞台では薪能が行われており、歴史ある浜松城での幽玄世界の表現が話題となった。通常のホールや舞台での公演ではない野外劇は、多くの市民に気軽に舞台芸術に触れてもらう機会となる。伝統的な石舞台で演劇公演を行うことで、文化芸術、題材元となる古典芸能への興味を市民に促す。	【期間】R1. 10. 14、27 【場所】浜松城公園 石舞台 【内容】 ・現代薪能形式に則った野外劇「近代能楽集-弱法師-」を上演 ・市内で活動しているミュージシャンによる生演奏 ・スタッフ10人、参加者120人	851,988 [400,000]	1	A	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は台風の影響により集客が伸び悩んだが、リピーターや学生の姿も見られ、気軽に舞台芸術に親しむ機会を提供した。 ・SNSや学生の力を活用するなど、事業周知の方法を検討し、更なる集客を期待する。 ・事業を継続していくために入場料を徴収するなど自主財源を確保する方法が課題である。 ・天候不良のリスクを考慮した運営計画を検討してほしい。